

千葉大学感染症情報 2013-2014 シーズン 第4報

【インフルエンザ・鳥インフルエンザ】

手洗い・うがい・咳エチケット！

2014年第3週で千葉県は流行注意報レベルの患者数となっています。今現在流行の最中と考えられますので、手洗い・うがい・咳エチケットの励行をお願いします。

H5N1 インフルエンザの死亡例がカナダで報告されました。北京への渡航例と報道されています。また、中国国内での、H7N9の感染例も増加しています。流行地域へ渡航する際には、家禽市場へは近づかない、鳥に直接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。入国時に、発熱、咳、などの痛みなどの症状がある場合は検疫所に相談してください。

【結核】

2週間以上咳が続く場合には、検査を受けましょう！

結核を知ることが予防への第一歩。早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

詳しく知りたい方はこちら（結核予防会HP） →



以下のような場合には、各地区保健室へご連絡・お訪ねください。

1) 2週間以上咳・痰・微熱などが続く。

2) 身近な人が結核と診断されたので、自分も感染していないか心配である。

本学の学生・教職員の皆さんは、西千葉保健管理棟で医師（日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医）に相談することができます。必要に応じて、胸部レントゲン検査を行うことも可能です。

【感染性胃腸炎】

手洗いを十分に行いましょう！汚物処理は次亜塩素酸で！

千葉市内でもノロウイルスによる食中毒事例が報告されています。調理前、食事前の手洗いを十分行うようにしましょう。また、吐物などの処理の際は、次亜塩素酸を用品です。

かかってしまった時の対応を詳しく知りたい方はこちら（千葉市健康企画課HP） →

